

令和 6 年 6 月 1 0 日

見附市議会議員 様

見附市議会議員 関 三郎

一 般 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【 1 】 障害者施策の進捗について

答弁を求める者 市 長

市は第 7 期見附市障がい福祉計画及び第 3 期見附市障がい児福祉計画を策定し、障がいを理由とした差別の解消や共生社会の実現を目指す市独自条例の制定や、障がい者の雇用促進に向けた取り組みなど、新たな施策を推進するとともに、市民の皆様と連携し、誰もが「健幸」を実感し、安心して暮らせる「暮らし満足 No. 1」のまちづくりを進めて行くと、宣言されているので、過去の実績も踏まえ、今後の取り組みについて質問させていただきます。

1 障がい者の就労支援の拡充について

- (1) 市には、就労を目指しながら作業に従事する「就労移行支援」を持つ事業所は何か所あり、その中でも「就労継続支援 B 型事業所」が何か所あり、就労の状況はどうか伺います。
- (2) 見附市内の「就労継続支援 B 型事業所」に就労されている方の平均工賃は月額いくらか伺う。また、県の目標工賃月額はいくらで、平均工賃向上のための市の取り組みがありましたら伺います。
- (3) 障がいのある人の就労機会を増やすため、仕事を依頼したい地元企業と、障がい者が利用する福祉サービス事業所のマッチング支援事業を始める計画はあるのか伺う。
- (4) 令和 5 年 6 月定例会の一般質問で私が「農福連携に関する事業の拡大について」質問したところ、市長より「市では障害福祉サービス事業所 6 か所のうち 3 か所が農福連携に取り組んでいる」と答弁がありました。以降、現在まで農福連携の事業所は増えたか、伺います。また、県は農業法人等の農福連携受け入れ環境づくりを進めているが、

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウエ



見附市としても農福連携受け入れ環境整備支援の計画があるのか伺います。

- (5) 令和 5 年 12 月定例会の一般質問で、加藤議員が「障害者差別解消法」の条例制定時期について、質問したところ、市長より「令和 6 年度中の条例制定に向けて準備を進めていきたい。」と答弁がありました。令和 6 年度の条例制定に向けての具体的スケジュールを伺う。
- 2 在宅で人工呼吸器等を使用している方への「非常用電源装置」の給付について見附市の給付実態を伺う。また、ヘルプカードの平成 31 年度以降の利用状況について伺う。
- 3 災害時の「避難行動要支援者」の範疇について
市では、対象者を把握するのに、「避難行動要支援者」とは①要介護認定 3～5 を受けている方、②身体障害者手帳 1、2 級の交付を受けている方（*呼吸器障害以外の内部障害を除く）、③療育手帳 A の交付を受けている方としているが、これら以外に、④その他、上記に準じて支援を必要とする者を追加してはどうか。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【2】オール見附の健全化を目指して(将来の子供のために)

答弁を求める者 市 長・教育長

当見附市はおよそ20年前合併論議がピークを迎え、当時の執行部と議会
は市民アンケートで市民の賛否を問い、「合併反対」が60%を超え、独自
で歩む道を選択した。以降二人の市長(為政者)に依って市政が運営され
てきたわけです。その中で、少子高齢化、新型コロナ感染等、様々な試練に
も遭遇しましたが、これは全国市町村が平等に味わっている試練です。

決して、大袈裟なことをいうわけではありませんが、当見附市も含めた
全国市町村が「生き残りを賭けたサバイバルゲーム」の最中にあると言っ
ても過言ではないと思います。

以下、見附市が乗り越えなければならないと思われる課題を提示させて
いただきますので、以下質問に簡潔明瞭にお答えいただきたいと思います。

1 今後の財政運営について

本市の課題は中長期財政計画において、各年度決算において見込まれ
る余剰金(繰越金)や財政調整基金を充当することにより各年度の歳出
超過を補っている状況と説明されております。

(1) 歳出超過に至った原因を具体的に伺う。(具体的事業名で)

(2) 歳入確保について、中長期財政計画に記載の

ア、地場産業の活性化

イ、企業誘致

ウ、交流人口の増加について、年度別、項目別に達成金額を伺う。

2 「自治体退職者(自己都合)10年で2倍」というマスコミ報道に関して、
見附市の実態について伺う。

(1) 本市職員の2013年～2022年(10年間)の20代及び30代職
員の年度別退職者数(自己都合によるもの)

(2) 離職理由の第3位までを伺う。

(3) 民間大手企業や国家公務員でも一部で採用されている。「カムバ

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ

ック採用」は検討されているのか伺う。

3 教育について

- (1) 少子化加速の中、見附市もようやく、学校配置等の検討のため5月31日に「市立学校配置等検討委員会」がスタートしました。先ず、この検討委員会の委員18名の構成内容と発足するきっかけとなった昨年度実施された「5年後、10年後の教育環境を考えるタウンミーティング」での討議内容を受けての、検討委員会発足への流れのポイントを伺う。
- (2) 20市で一番狭い面積という特異性を生かして、例えば、小中一貫校1ないし2校で、見附独自の「共創教育」の実践ができないものか伺う。
- (3) 不登校の児童・生徒に対する健康診断の実態について（学校保健安全法との関連）伺う。
- (4) 小学校の長寿命化改修工事の入札について伺う。4月30日の入札公告で工事番号（建工第5号）の工事名（名木野小学校 長寿命化改修 工事（建築）（機械設備）（電気設備））の3件が入札公告された。公告を見ると5月30日が入札指定日でありましたが、関係部署に確認したら、当日、入札が未実施であった。

延期の事由と今後の入札公告と入札日時を伺う。人件費及び諸資材高騰中であり、当初予定の工事内容が一括実施されるのか分割されるのか伺う。

4 土木について

- (1) 県単事業、貝喰川のピークカット事業は調整池の予定地で遺跡が発見され、工事が中断中であるが、貝喰川の越流ゲート及び調整池に向かっての放水路の方から工事を進めてはどうかと、県に進言してはどうか市の考えを伺います。
- (2) 令和6年度の建設課の主管予算の道路維持費中「道路等維持管理委託料」、公園管理費中「包括的維持管理業務委託料」、下水道事業会計の污水管渠費中「管路施設包括的維持管理業務委託料」、雨水管渠費中、「管路施設包括的維持管理業務委託料」、農集管渠費中、「管路施設包括的維持管理業務委託料」については、人件費及び諸経費が予算計上時よりアップしていると思われるが、再度補正を組む必要がある

※ 番号のつけ方 （大項目） 1 2 3 （中項目） (1) (2) (3) （小項目） アイウ

と思うが市の見解を伺う。

5 福祉について（病児保育事業の必要性を問う）

病児保育事業は、子どもの立場を代弁する専門家集団（保育士、看護師、医師、栄養士等）が、子どもの健康と幸福を守るためにあらゆる世話を行う、子育てのセーフティネットとしての役割を担うとされている。

女性の社会進出が進み、出産後も妊娠前と変わらず働く女性が増えた昨今、子どもが病気になった時の対応に困ってしまうというワーキングマザーも少なくありません。手を借りたい祖父母や両親、兄弟などが遠方に住んでいる場合や何らかの事情により、子どもの体調不良時に誰かに頼ることができないという方も多く、深刻な問題として頭を悩ませている家族も多いようです。

これらを踏まえ、「子ども子育て」を「最重点項目」とされている稲田市長の考えを以下伺う。

- (1) 新潟県内で「病児保育事業」を実践されている市町村を伺う。
- (2) 見附市は何時から導入されており、協力医療機関名、利用定員、利用時間、利用料等について伺う。